

鹿児島医療センター 平成27年度 循環器病看護エキスパートナース研修公開講座のご案内

鹿児島医療センターでは、循環器病看護の質の向上を図る事を目的に、10月19日(月)～10月28日(水)、8日間の循環器病看護エキスパートナース研修を企画しております。この研修の全講義(4日間)をオープン参加とし、地域の医療職、看護職員の多くの皆様にも参加していただけたらと考えております。
1講座から受講を受け付けており、いくつでも無料で受講できますので是非参加していただきたいと思っております。

月日	日 時	場所	講義内容	講師
10/19 (月)	9:30～11:00	鹿児島医療センター 研修棟3階	循環器総論	第二循環器内科部長
	11:10～12:00		循環器病看護総論	救急看護認定看護師
	13:00～15:00		虚血性心疾患の病態と診断・治療	第一循環器内科部長
	15:10～16:10		心エコー検査の実際	臨床検査技師(生理主任)
16:20～17:15	心臓カテーテル検査及び治療における看護		ICU看護師	
10/20 (火)	8:30～10:20		心不全の病態生理及び治療	臨床研究部長
	10:30～12:00		心不全患者の看護	副看護部長
	13:00～13:50		肺高血圧症の診断・治療	第二循環器内科医師
	13:55～14:40	肺高血圧症の看護	副看護部長	
	14:50～15:40	慢性期患者のセルフマネジメント	糖尿病看護認定看護師	
10/21 (水)	15:45～17:15	心臓血管外科最新の治療	統括診療部長(心臓血管外科部長)	
	8:30～10:00	救急医療と看護	救急看護認定看護師	
	10:10～11:10	循環器の薬物治療	薬剤師	
	11:15～12:00	循環器患者の栄養管理	栄養管理室長	
	13:00～14:00	心臓リハビリテーション概論	リハビリテーション科医長	
	14:00～14:45	心臓リハビリテーションの実際	リハ科看護師	
	14:55～15:40	他職種協働における退院支援	退院調整看護師	
10/22 (木)	15:50～17:15	不整脈と治療	第二循環器内科医長	
	13:00～14:00	集中治療と看護	集中ケア認定看護師	
	14:10～16:40	循環器フィジカルアセスメント(講義のみとなります)	集中ケア認定看護師 救急看護認定看護師	

*外来駐車場は、患者様優先です。研修で使用することはできません。研修においての際は、公共交通機関をご利用頂くか、自家用車でおいでの場合は、近隣の有料駐車場をご利用下さい。

参加希望期日・講座名・施設名・参加者名をご記入の上FAXでお申し込み下さい。(申込締め切り10月5日)

参加申し込み先：鹿児島医療センター 教育担当師長：神野 美子 宛 FAX 099-226-9246

新
任
紹
介



脳神経外科

米永 理法

みなさん、こんにちは。鹿児島出身、弘前大学を卒業。初期研修は福岡で行い、鹿児島大学脳神経外科に入局。その後川内、鹿屋、霧島と移動し、約2年半ぶりに鹿児島市内に戻ってきました。内科の先生方とも協力しながら脳卒中の治療に携わっていただけたらと思っております。また来年は専門医試験もありますので、時間をみつめてコツコツ勉強したいと考えています。最近体重が増加傾向なので、下手ですが趣味のテニスで減量できるようにがんばります。皆様、御指導のほどよろしくお願い申し上げます。



心臓血管外科

寺園 和哉

7月より鹿児島医療センターに赴任することとなりました。心臓血管外科の寺園和哉と申します。以前の職場では一般外科に従事しており、半年ぶりの心臓血管外科での仕事となります。まだまだ若輩者で至らない点が多々あると思いますが、やる気と声の大きさには自信があります。日々多くのことを学びながら、少しでもお役に立てるよう精進していきたいと思っております。ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、ご指導のほど宜しくお願いいたします。

■お問い合わせ先 独立行政法人 国立病院機構 鹿児島医療センター (循環器・脳卒中・がん専門施設)

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号
代)TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246 <http://www.kagomc.jp>

【地域連携】 蘭田・谷口・田上・吉永・鷲頭・吉留・山口・櫻木・宮崎

【がん相談】 松崎・森・水元・木ノ脇・原田・杉本

フリーダイヤルFAX専用▶0120(334)476

※休日・時間外は当直者で対応します。



職場紹介

【外来】

外来は、平成26年10月より皮膚腫瘍科が新設され、標榜23診療科、稼働21診療科となりました。平成26年度の1日平均患者数は376人、月平均新外来患者数151人、1日の救急外来患者数は5～10人です。在院日数の短縮化により検査件数や外来化学療法が増加し、高齢化により医療・看護も複雑化しています。患者さま一人一人の生活スタイルに応じた関わりや多職種の連携がますます重要になってきました。

現在、外来看護師は常勤31人、非常勤12人と看護助手2人が配置されており、そのうち子育て中の看護師が60%を占めていますが協力し合い頑張っています。以前は非常勤看護師が多く、委員会活動への参加が難しい状況がありました。現在は殆どの委員会に出席し活動できるようになり、毎年、看護研究の院外発表を行うことができています。

平成26年4月からは夜間救急外来を外来看護師が担当することになり、救急対応できる看護師の育成に努めて参りました。院内の9分野12人の認定看護師の内、外来には、救急看護認定看護師、がん化学療法認定看護師、糖尿病看護認定看護師、放射線療法看護認定看護師の4人の認定看護師とメディカルサポートセンターに緩和ケア認定看護師が配置され、スタッフ教育や専門的な看護ケアを実施し外来看護の質の向上に努めています。

また、患者さまより頂いたご意見を接客改善に活かすことでお褒めの言葉が増加し、職員のモチベーション向上にもつながっています。

外来は「病院の顔」であり、医師・看護師をはじめ、医師事務補助作業員、予約センターやメディカルサポートセンター、事務部、検査科、放射線科と多職種で患者様をサポートしています。今後、益々高齢化していく社会に対応できるように私たち外来スタッフは、連携を図り、患者さまの目線に立った、「安心の看護」、「信頼される看護」、「責任ある看護」の提供に努め、「鹿児島医療センターに来てよかった」と喜んで頂けるよう日々研鑽していきたいと思っています。

(文責：外来師長 有本 祐子)



	救急患者数 (件数)		
	救急車	その他	合計
平成24年度	1,550	2,154	3,704
平成25年度	1,550	2,041	3,591
平成26年度	1,748	2,175	3,923

	外来化学療法
平成24年度	1,218
平成25年度	1,271
平成26年度	1,459

消化器内科検査件数 (件数)	
平成24年度	2,693
平成25年度	3,059
平成26年度	3,553

新任職員リフレッシュ研修

当院では、採用となった職員のうち新卒者を対象に、鹿児島県薩摩川内市いむた池にて宿泊研修を実施しています。

いむた池は当院から約40kmの薩摩川内市祁答院町蘭牟田に位置し、直径約1キロメートルの火山湖であり周辺は豊富な自然に囲まれた閑静な場所です。また、いむた池周辺の湿地帯は国の天然記念物に指定され、平成17年ラムサール条約指定湿地に登録されています。

今年は7月3日（金）新採用職員45名、指導者8人、幹部及び他職員で、午前8時30分バスで出発、1時間ほどで研修場所となるホテル「CoCoフォレいむた」に到着しました。例年、梅雨末期と言うこともあって雨の日が多いのですが今年は、何とか曇り空、途中、世界一の大水車前での記念撮影ができました。午前10時頃、ホテルに到着すると、みんなで研修場所の設営を行い6グループに分かれ「就職して印象に残ったことを語ろう」のテーマでグループワークを行いました。各グループとも新採用者の大部分を占める看護師に研修医、検査技師、事務といった他部署の職員が加わる形で行われたため、最初はなかなか会話が進みませんでした。指導者が適宜声かけを行い、少しずつうち解けて、採用されてからの失敗談などが語られました。ワークではこれら体験談を一つずつポストイットに書き、模造紙に貼り付けていき、同じ種類のはまとめていきます。これらの体験談からの気づき（こうすれば良かった）の一つ一つが、明日行うテーマ「これから私達が目指すこと」のベースになります。昼食後13時からは気分転換を図るため伝言ゲーム等を行った後、AEメディカル田之頭智子先生による「強み発見とアンガーマネジメント」の講演が行われました。田之頭先生は当院の接遇研修でもしばしばお世話になっており、医療機関に合った接遇のあり方についてご教示いただけるので大変、助かっています。この日は他人に対して怒りを覚えたときの自己をコントロールする方法を学びました。新人のうちは初めて経験する病院の業務についていけず、自分の思いどおりにいかないことしばしばですが、先生のお話をお聞きしてイライラしたときの意識の持ち方を見いだされた方も多いと思います。その後、あらかじめ用意してあった新人に対する「上司からのメッセージ」を実際に上司から手渡していただくという感動的な企画もありました。夜は、夕食・懇親会となり各病棟・職場から出し物も披露されましたが、新人と思えない堂々とした、また思わず爆笑してしまうような演技が続きました。二次会はカラオケ大会となり、夜遅くまで歌に踊りに明け暮れました。

翌日は、副院長今村純一先生の講演「医療者として目指してきたもの」があり今村先生の医師としての体験談を興味深く聞かせていただきました。そして2日目のグループワーク「これから自分たちが目指すこと」を行い、昨日の体験談をもとに気づいたこと（改善点）、将来レベルアップを図っていくためにはどうしたらいいのかがグループ内でポストイットに記入したものを、模造紙に種類ごとに分類して貼り付け、最終的にはグループ発表を行い、お互いに問題意識の共有を図りました。昨日はなかなか会話が進まなかった新人たちも職場を越えて積極的な会話ができるようになったことは大きな収穫だったといえるでしょう。

すべての研修が修了した後、院長花田修一先生に講演「医療者として目指してきたこと」をいただき、先生の学生時代から医師として経験を重ねていくうえでの苦労話をお聞きしました。

そして最後に院長先生を囲んで記念撮影を行い、病院へと帰路につきました。最後に、この研修会を行うにあたり、講師をつとめていただきました田之頭智子先生、研修施設として利用させていただいた「CoCoフォレいむた」の皆さんに、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

（文責：庶務班長 上山 卓朗）



平成27年度 鹿児島医療センター附属鹿児島看護学校

第1回 オープンキャンパスも終えて

第1回 オープンキャンパス実行委員

木村 愛梨・後藤 理子・丸山 真子・森山 佳奈

平成27年6月20日に高校生・社会人を対象にオープンキャンパスが行われました。今回は、多くの高校生に本校を知ってもらい、また強みを伝えることにより、本校で看護を学びたいと高校生に選択してもらえるように企画を考えていきました。今回は、歓迎セレモニーとして手話での挨拶を新たに取り入れ、模擬授業や技術体験、学校紹介のスライドショー上映、在校生との交流会などを行いました。

私たちはオープンキャンパスの準備から当日までの中で、様々な達成感と課題を得ることができました。準備の段階では、参加して下さる高校生や社会人に看護学生がどのような学習に取り組み、学校生活を送っているかを分かりやすく伝えるために、学生と教員との連携を図り、何度も話し合いを行いました。2年生になってから学生が主体となって作り上げる学校行事としては初めてで、どう工夫したら参加者に本校や看護の魅力が伝えられるのか、戸惑うこともありましたが、当日は教材の展示ブースを増やし、そこに学生を配置することで「教材の説明など詳しく説明してもらえて楽しかったです」と、より参加者との交流も図れました。また在校生との交流会を行うことによって「看護師になりたいという思いが強くなりました」という意見もありました。参加者の立場に立って企画を行い成功させることができたと感じています。

今回のオープンキャンパスで、学生それぞれが与えられた役割を果たすことができ、2年生全体としての成長を感じることができました。全員で団結することは私たちが4月に目標として掲げたことでもあったため、今回の成功体験を今後の学校生活に活かしていきたいと思いました。

また、今回のオープンキャンパスを無事に終えることができたのは、参加して下さった高校生、社会人の方々、その保護者の皆様方の協力があったからです。私たちがたくさんの方に支えられて学校生活を送っていることを忘れず、今後も様々な出会いを大切にして学習に取り組んでいきたいと思っています。



消化器がんカンファレンス / キャンサーボードのご案内

当院では、毎週火曜日午後5時15分から消化器（消化管および肝胆膵）がん手術適応症例を中心に、消化器内科、消化器外科、放射線科、臨床病理、腫瘍内科、臨床研修医、NST、がん関連認定看護師などと合同で症例検討会を行っております。オープンですので、診断、治療、対応にお悩みの症例がありましたら提示していただき、連携を構築しながら共同で検討できればと思います。パラメディカルスタッフ含め、遠慮なくご参加をお願いいたします。

開催日：毎週火曜日 午後5時15分～